

年齢	R8.1月末 (R7.12月末比)
0～14歳	437人 (-2)
15～64歳	2,072人 (-3)
65歳～	1,803人 (-7)
合計	4,312人 (-12)

いやさか地域づくり協議会 懇談会

2月6日(金)、いやさか地域づくり協議会の懇談会を開催しました。この懇談会は、弥栄町内5つの協議会の活動内容や防災に関する取組等について情報交換を行い、交流を図るために行っています。

今回は2回目の開催で、協議会毎の現状と課題を共有することにより、各地域における取り組みの方向性が見えてきた貴重な機会となりました。

参加者 いやさか吉野地域づくり協議会、いやさか溝谷地域づくり協議会、いやさか黒部地域づくり協議会、いやさかTOKIWA地域づくり協議会、野間連合区

内容

○第1部 「新コミュと農業振興について」

1 「地域計画」について（農業振興課）

- ・農業振興に関する計画についてしっかり話し合いを。
- ・地域の特徴や実情に応じて、作り上げてほしい。
- ・地域の現状や課題があれば聞かせてほしい。

2 《事例報告》いやさか溝谷地域づくり協議会 農業部会の取り組み（いやさか溝谷地域づくり協議会）

- ・3区にある農地を集積し、「農地中間管理事業」を推進している。農地中間管理機構(通称:農地バンク)を介して、意欲ある耕作者(担い手)へ農地を貸し付けている。
- ・協議会の農業部会では、耕作者の農地集積や、地権者と耕作者の利用調整等を行っている。
- ・集積協力金を地域が受け取っている。
- ・3区が一致して取り組むことに意義がある。

3 健康づくり推進員について（健康推進課）

地域の健康は地域で守るという考え方を基本に、地域の健康づくりリーダーを養成していきたい。



○第2部 「いやさか地域づくり協議会 懇談会」

1 各協議会の取り組みについて

協議会名	意見・取り組み内容など
いやさか吉野	○面白いことをみんなでやりながら、地域で困っていることを掘り起こす。 ○10年・20年後、人口が少なくなった時に、吉澤・芋野・堤の3区で助け合えるつながりを作っておきたい。
いやさか溝谷	○令和8年度から協議会内に空家移住部会を設置したい。 ○12月に行ったクリスマス会は多くの参加者で賑わった。 ○協議会活動を知ってもらうため広報を5回発行した。
いやさか黒部	○多様な学び・つながり部会で、今までの公民館活動を引き継ぎ、活動を継続している。 ○複合型地域プロジェクトとして、地域の団体が協同し、黒部地域交流運動会を実施。運動会だけではなく防災をテーマに行うことによって、参加者が防災について学び意識を高めることができる運動会となっている。

いやさか TOKIWA	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所設置時の運営マニュアルの検討会を行った。 ○防災訓練や防災講演会を行った。 ○集落の教科書づくりセミナーに参加し、教科書づくりに取り組んでいる。
野間連合区	<ul style="list-style-type: none"> ○民間企業と協同し、野間の保健室を実施している。様々な機器を使用して自らの体力や健康状態を知る機会を設けている。また、レクリエーションを行うことによって、健康管理を進めている。 ○お米の食味コンテストを行い、野間のお米を更に美味しくするための情報交換を行った。

2 ワークショップ (30分) …3班に分かれグループで話し合い

- テーマ①: 今後の地域活性化・地域づくりの取り組みについて
 テーマ②: 地域防災の取り組みについて



3 情報共有 (各班より話し合いの内容を報告)

主な内容は次のとおり

現状

課題

テーマ①

- 感動や面白いことから始めることは良い。
- 吉野にはコミュニティが専用で使える拠点施設があっている。
- 野間のお米食味コンテストは面白い。地域の人が自分の作ったお米を炊いて、みんなで食べ比べてみるのも面白い。
- 吉野ではお餅をついて、多くの参加者に食べてもらったが、食べることはみんなの喜びになっている。

- 高齢者や多くの人を集めるのに課題がある。
- 協議会の認知度が低い。広報活動を大切にして協議会活動を知ってもらうことが大切。
- 将来、一つの集落がなくなるぐらいの人口減少があり、何とか食い止め、上向くことを目指して地域コミュニティの活動を進めていかなければならない。
- キーワードとして祭りをメインにし、若い人と協力して行うことで、地域が盛り上がる取り組みに繋げたい。
- ふるさと納税の額も地域によって差がある。

テーマ②

- 防災をテーマにすると難しいので、社会福祉協議会に協力してもらって、地域交流運動会として楽しく防災を学んだ。
- 防災マニュアルを作ることができた。これについて今後もっと多くの人に知ってもらう取り組みをする。
- 防災の取り組みができていないので、講演会を開くことから始めている。
- 黒部のような複合型の防災取り組みは良い。
- 黒部では、ふるさと納税を利用して投光器やポータブル発電機等を購入した。

- TOKIWA協議会の防災マニュアルも何かと組み合わせ取組んではどうか。
- 吉野では、3区がどのような防災備品を持っているか調べて、いざという時には貸し借りができるようにしたり、良い防災備品があれば、どの区も揃えるようにするのはどうか。



民生児童委員 新委員さん

昨年12月に中山市長から委嘱状を交付されました皆さま、3年間の任期、お世話になります。よろしくお願いいたします。

担当地域	氏名
等楽寺	安達 直樹さん
国久・小田・井辺	小野 豊さん
鳥取	和田 和作さん
木橋	吉岡 満寿美さん

防犯の日

2月16日(月)弥栄郵便局及びJA弥栄支店で、防犯委員、黒部駐在、市職員が街頭啓発を行いました。



街頭啓発では、通行される方にウェットティッシュを配布し、詐欺に注意するよう呼びかけました。

ご注意ください!

詐欺の被害件数は、令和7年が過去8年間で最も多く、増加傾向にあります。電話やスマートフォンでの詐欺にはご用心。



警察相談専用電話 #9110

